

新潟市曾野木地区

曾野木地区は、その大部分が海面より低いゼロメートル地帯であり、地区の上流側が水田を主体とする農用地で下流側が農地転用による市街化が進んでいる。また、地区の排水は、24時間の機械排水に頼っており、近年頻発する集中豪雨により市街地や農地が浸水被害を受けている。市街地を通る幹線排水路の改修等が計画され事業に着手しているが、多大な費用と時間を要するため、上流部の水田で安価で即効性の高い田んぼダムを実施することにより、浸水被害の軽減を期待できることから田んぼダムの効果検証を実施し、田んぼダムを実施することで約2割超の浸水被害面積の軽減効果が見込めることが分かった。



軽量田んぼダム柵



にいがた
新潟県新潟市江南区



スライド板と調整装置（堰板）
分離型のため農家の人はスライド板により今まで通りの水位調整のみでOK

〔洪水防止〕

排水柵に堰板を設置し、大雨が降った際に雨水を水田に貯留させ、時間をかけて流すことで排水路の急激な水位の上昇を抑え、農地や市街地の浸水被害を軽減している。

〔景観の保全〕

排水路沿いの桜並木やアジサイの維持管理活動、清掃活動を実施している。

〔体験学習と教育〕

地区内の小学校の総合学習授業とタイアップし、田植え、生育調査、収穫、はざかけ等の農業体験を実施している。

〔医療・介護・福祉〕

老健施設や障がい者作業所と連携したジャガイモ収穫などの活動を実施している。



新潟市田んぼダム
マスコットキャラクター
ためたろう
貯め田郎



桜並木



清掃活動



小学校総合学習



福祉施設との連携